

令和4年度 苫小牧市沼ノ端交流センター 管理運営実績シート

内容	計画及び実績等		
事業計画概要	<p>施設の利用に関する業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使用の許可、利用料金の収受、施設利用促進 等 <p>○施設の維持管理に関する業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・修繕、備品管理、駐車場管理 等 <p>○施設の管理運営に関する業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織体制及び人員配置、職員の研修等の実施、個人情報の保護 等 <p>○その他施設の管理運営に必要な業務</p>		
事業計画の内、未実施の事業	無し		
利用実績	目 標		実 績
	(※利用者数の地域性があることから、目標は定めていない。) 参考：R3年度利用者総数 68,112人		84,059人(昨年比+23%増) ●交流センター(19,965人) ●北栄児童センター(50,265人) ●図書(10,041人) ●勉強室(3,788人)
利用者満足度	利用者アンケート結果		
	満足	82.0%	やや不満 1.4%
	やや満足	15.0%	不満 0.5%
			無回答 1.1%
事業費(自主事業を除く総額)	収 入		
	費目	予算	決算
	指定管理費	55,165,000円	55,165,000円
	施設利用料	2,268,000円	2,787,116円
	自主事業	259,000円	0円
	合計	57,692,000円	57,952,116円
	支 出		
	費目	予算	決算
	人件費	32,053,000円	36,211,213円
	需要費	13,298,000円	11,416,331円
	役務費	753,000円	627,084円
	委託費	7,622,000円	7,371,594円
その他	3,966,000円	961,672円	
合計	57,692,000円	56,587,894円	

自主事業内容	計 画		実 績
	事業内容	時期	
自主事業内容	●<u>絵本の広場/お話のひろば</u> ※幼児・小学生対象 (定員 10名)	毎月1回	●<u>絵本の広場/お話のひろば</u> ※幼児・小学生対象 【11回 132名】
	●<u>つくってわくわく/つくて遊ぼう</u> ※幼児・小学生対象 (定員 10名)		●<u>つくってわくわく/つくて遊ぼう</u> ※幼児・小学生対象 【12回 134名】
	●<u>小学生事業ジャンプ</u> ※小学生対象 (定員 10名)		●<u>小学生事業ジャンプ</u> ※小学生対象 【11回 83名】
	●<u>チャレンジ</u> ※小学生対象 (定員 10名)		●<u>チャレンジ</u> ※小学生対象 【67回 409名】
	●<u>チャレラン</u> ※小学生対象 (定員 10名)		●<u>チャレラン</u> ※小学生対象 【45回 363名】
	●<u>壁面製作</u> ※幼児・小学生対象 (定員なし)		●<u>ほくえいシアター</u> ※幼児・小学生対象 【12回 185名】
	●<u>ベビーマッサージ</u> ※0歳児、保護者対象 (定員 10名)	隔月1回	●<u>シルバニアで遊ぼう</u> ※幼児対象 【11回 35名】
	●<u>だっこひも講座</u> ※幼児、保護者対象 (定員 10名)	年2回	●<u>壁面製作</u> ※幼児・小学生対象 【13回 1441名】
	●<u>マリンバミニコンサート</u> ※幼児、小学生対象 (定員 30名)		●<u>ベビーマッサージ</u> ※0歳児、保護者対象 【6回 88名】
	●<u>川柳大会</u> ※対象、定員なし		●<u>だっこひも講座</u> ※幼児、保護者対象 【1回 12名】
●<u>本の福袋</u> ※対象、定員なし	●<u>マリンバミニコンサート</u> ※幼児、小学生対象 【2回 67名】		
●<u>アンケート企画</u> ※対象、定員なし	●<u>ほくほくクッキング</u> ※小学生対象 【1回 13名】		
●<u>ぬりえ大会</u> ※対象、定員なし	年3回	●<u>ぬりえ大会</u> ※対象、定員なし	
●<u>ほくほくクッキング</u>	年4回	【6月23枚、10月32枚掲示】	

	※小学生対象 (定員 10 名)		● <u>本の福袋</u> (正月) ※対象、定員なし 【10 セット全て】
	● <u>チャレンジ</u> ※小学生対象 (定員なし)	第 1・2・3 週日 に各 2 回ずつ	● <u>新 1 年生を迎える会</u> (4 月) ※小学生対象 【22 名】
	● <u>ほくえいシアター</u> ※幼児・小学生対象 (定員 20 名)	毎月第 1 土曜日	● <u>遠足</u> (6 月) ※小学生対象 【14 名】
	● <u>シルバニアで遊ぼう</u> ※幼児対象 (定員 2 組)	毎月第 3 水曜日	● <u>サマーアドベンチャー(親子夏祭り)</u> (7 月) 【92 名】
	● <u>新 1 年生を迎える会</u> ※小学生対象 (定員なし)	4 月	● <u>トピリカフェスティバル</u> (10 月) ※対象なし【565 名(ステージ発表者 150 名)】
	● <u>遠足</u> ※小学生対象 (定員 16 名)	6 月	● <u>ハロウィンイベント</u> (10 月) ※対象、定員なし
	● <u>サマーアドベンチャー(親子夏祭り)</u> (定員 80 名)	7 月	● <u>クリスマス会</u> (12 月) ※幼児対象 【30 名】
	● <u>トピリカフェスティバル</u> ※対象なし(定員 150 人)	10 月	● <u>年末子ども交流会</u> ※小学生対象 【31 名】
	● <u>ハロウィンイベント</u> ※対象、定員なし		● <u>新年会</u> (1 月) ※小学生対象 【31 名】
	● <u>クリスマス会</u> ※幼児対象 (定員 10 組)	12 月	● <u>新春お楽しみ会</u> (1 月) ※幼児対象 【31 名】
	● <u>年末子ども交流会</u> ※小学生対象 (定員 30 名)		● <u>節分豆まき</u> (2 月) ※幼児対象 【23 名】
	● <u>新年会</u> ※小学生対象 (定員 30 名)	1 月	● <u>節分豆まき</u> (2 月) ※小学生対象 【34 名】
	● <u>新春お楽しみ会</u> ※幼児対象 (定員 10 組)		● <u>進級・進学お祝い会</u> ※小学生対象 【32 名】
			<u>自主事業計画書以外の追加事業</u>
			● <u>おすすめ本紹介</u> (毎月)
			● <u>絵馬展示</u> (正月)【20 枚】
			● <u>雑誌バックナンバープレゼント</u> (8 月)【100 冊】
			● <u>親子タイムよちよち</u> ※幼児対象 【4 回 93 名】
			● <u>美とま kids</u> (4 月) ※対象無し 【338 名】

	<p>●節分豆まき ※幼児対象 (定員 10 組)</p>	2 月	
	<p>●節分豆まき ※小学生対象 (定員 30 名)</p>		
	<p>●進級・進学お祝い 会 ※小学生対象 (定員 30 名)</p>	3 月	
	<p>●短冊展示 ※対象、定員なし</p>	夏休み期間 年 1 回	
自主事業計画の内、未実施の事業	<p>●川柳大会 ⇒ おすすめ本紹介に変更（毎月） 川柳大会は利用客層から実現性が低いと思われ、まずは本に興味関心を持ってもらうためにおすすめ本紹介コーナーを実施。</p> <p>●短冊展示 ⇒ 絵馬展示に変更（正月） 実施時期の関係で短冊を絵馬へ変更した。</p> <p>●アンケート企画 ⇒ 雑誌バックナンバープレゼントに変更（8月） 雑誌のバックナンバーの在庫がたまっており、倉庫を圧迫していたため、プレゼント企画に変更した。</p>		
職員研修等の実施内容	計 画	実 績	
	<p>●火災避難訓練研修</p> <p>●放課後児童支援員認定資格研修</p>	<p>●火災避難訓練研修 7/14 6名、2/9 6名</p> <p>●放課後児童支援員認定資格研修 7/9.10.23.24、11/5.6.26.27 3名</p> <p>●チャイルドケアプログラム研修 (マネジメント初級) 4/11～5/18 5名</p> <p>●チャイルドケアプログラム (怒りの感情と上手に付き合う) 5/20～6/18 6名</p> <p>●木育研修 9/28 1名</p> <p>●個人情報保護研修 7月 22名</p>	

	計 画	実 績
配置人員	センター館長 1名（契約社員）	センター館長 1名（契約社員）
	副センター館長 1名（契約社員）	センター職員 3名（契約社員）
	センター職員 1名（パート）	児童センター長 1名（契約社員）
	児童センター長 1名（契約社員）	副児童センター長 1名（契約社員）
	副児童センター長 1名（契約社員）	児童厚生員 2名（契約社員）
	児童厚生員 6名（パート）	4名（パート）
	図書リーダー 2名（契約社員）	補助員 1名（パート）
	図書パート 2名（パート）	図書リーダー 1名（契約社員）
		図書パート 1名（契約社員）
		3名（パート）
指定管理者独自で行った工夫、取組等	<ul style="list-style-type: none"> ・自主事業であるイベント「トピリカフェスティバル」では、施設の広さや多世代の利用者を活かし、来場者500人を超えるなど、利用促進に努めている。 ・清掃については、職員でできることは職員で行い、経費削減に努めている。 	